

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	ノリタケカタナジルコニア
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科切削加工用セラミックス
整理番号	828-250001

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	皮膚感受性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	発がん性 ※	区分2
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

#### シンボル



#### 注意喚起語 危険有害性情報

警告  
発がんのおそれの疑い ※  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
眼刺激

#### 注意書き

安全対策	なし
安全対策	・粉じん/ミスの吸入を避けること。 ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。 ・使用前に添付文書及び取扱説明書入手すること。 ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ※
応急処置	・皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。 ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 ※
保管	・施錠して保管すること。
廃棄	・内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。  
安全上のリスクが最大となる組成を記載している。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
酸化ジルコニウム※1	90-95	1314-23-4	1-563	≥1%	≥1%	非該当	非該当
酸化イットリウム	10-15	1314-36-9	1-560	≥1%	≥1%	非該当	非該当
酸化チタン(ナノ粒子以外)※2	<9 ※	13463-67-7	1-558	≥1%	≥0.1%	非該当	非該当
酸化ハフニウム(IV)	<2	12055-23-1	1-737	≥1%	≥1%	非該当	非該当
顔料、その他	<1	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

※1 皮膚感作性:区分1

※2 発がん性:区分2、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器)

### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、又は取り除く。 皮膚を石鹸と多量の流水又はシャワーで洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受ける。
眼に入った場合	水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中をよくすすぐ。 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺の状況や火災の状況に応じて粉末消火剤、散水、泡消火剤
特有の危険有害性	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。 ※
特有の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
保護具および緊急措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
環境に対する注意事項	流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。 粉塵が飛散しないようにする。
回収・中和	適切なウエス、ペーパー等で拭き取るかスコップ等ですくい取り適切な容器に回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材	適応される規制に従って廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の適切な保護具を着用する。 取扱い後に手、顔等をよく洗う。 使用前に添付文書及び取扱説明書をよく読む。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。
保管	
保管条件	直射日光を避け、冷所に保管する(10~30°C)。
容器包装材料	衝撃を与えないように個別包装にて保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会	酸化ジルコニウム (吸入性粉じん) 2 mg/m <sup>3</sup> 、(総粉じん) 8 mg/m <sup>3</sup> 酸化イットリウム (吸入性粉じん) 2 mg/m <sup>3</sup> 、(総粉じん) 8 mg/m <sup>3</sup> 酸化チタン 0.3 mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	酸化ハフニウム(IV) TWA: 0.5mg-Hf/m <sup>3</sup> (上気道および眼刺激; 肝臓障害) 酸化ジルコニウム TWA: 5mg-Zr/m <sup>3</sup> 、STEL: 10mg-Zr/m <sup>3</sup> 酸化イットリウム TWA: 1mg-Y/m <sup>3</sup> (肺繊維症) 酸化チタン TLV-TWA: 10 mg/m <sup>3</sup>

### 保護具

呼吸用保護具	換気が不十分な場合には、呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

### 衛生対策

休憩前、作業終了時に手を洗う。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(角柱ブロック状、又は、円盤ディスク状)
色	白色(焼成後発色)
臭い	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	情報なし
有機溶剤	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	6.0 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いでは安定。
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
危険有害反応可能性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	高温、過熱
混触危険物質	酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	CO、CO <sub>2</sub> 、NO <sub>x</sub>

## 11. 有害性情報

### 成分の有害性情報

整理番号: 828-250001

3/5

本品は次に示す構成成分があります。

ブロック/Pre-Sintered/LT/HT/ML/HTML/ST/STML/UT/UTML

本文中に「※」が記載されている項目は、構成成分「LT」のみに該当します。

**急性毒性**

経口

酸化チタン :区分外

本分類は、1～100 nmの範囲の粒子の酸化チタンについて分類を実施したものである。

経皮

酸化チタン :分類できない。

吸入:ガス

酸化チタン :分類対象外

吸入:蒸気

酸化チタン :分類対象外

吸入:粉じん及びミスト

酸化チタン :分類できない

**皮膚腐食性/刺激性**

酸化イットリウム:分類できない

本物質にウサギの皮膚に対して刺激性を示さないとの記載がある [HSDB (Access on September 2015)]が、データ不十分のため分類できないとした。

酸化チタン :区分外

二酸化チタン粒子を含有したエマルジョンを用いたホランティア実験において明確な皮膚刺激性は認められなかったとの報告や、動物に対して皮膚刺激性は認められなかったとの記載(産衛学会許容濃度提案理由書(2013))から、区分外とした。

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

酸化イットリウム:区分2B

ウサギの眼に対して軽度の刺激性を示したとの記載 [HSDB (Access on September 2015)]

酸化チタン :区分外

動物に対して眼刺激性は認められなかったとの記載(産衛学会許容濃度提案理由書(2013))から、区分外とした。

**呼吸器感受性**

酸化チタン :分類できない

**皮膚感受性**

酸化ジルコウム:区分1

ヒトに対して肉芽腫性皮膚反応を引き起こすとの報告あり。[DFGOT vol. 12 (1999)]

酸化チタン :分類できない

**生殖細胞変異原性**

酸化ニッケル(II):区分外

酸化チタン :分類できない

**発がん性**

酸化ジルコウム:分類できない

ヒト発がん性因子として分類できない[ACGIH-A4(1992)]

酸化チタン :区分2 ※

**生殖毒性**

酸化チタン :分類できない

**特定標的臓器毒性(単回ばく露)**

酸化チタン :分類できない

**特定標的臓器毒性(反復ばく露)**

酸化ジルコウム:分類できない

ヒトにおいて、本物質のばく露を受けた労働者の肺に影響がみられないとの報告がある [DFGOT vol. 12 (1999)]。

また、肺の変化(喘息、気管支炎、塵肺、類肉芽腫、肉芽腫性間質性肺炎)が報告されているが、肺の傷害を生じるような他の物質のばく露も受けており本物質との関連性は明確でないとの報告がある [DFGOT vol. 12 (1999)]。しかし、3人の肺の肉芽腫性変化中にジルコウムが確認された例、1名ではあるが外因性アレルギー性肺肺炎がみられた。肺の組織学的検査において、巨細胞中への異物の含有と線維化を伴った「異物によって誘発された様々なステージの類上皮細胞肉芽腫」がみられ、異物の主な構成成分はジルコウムであり、同様な変化は皮膚においてもみられ、乳腺及び腋ワキ関節に肉芽腫様変化がみられたとの報告がある [DFGOT vol. 12 (1999)]。以上のように、ヒトにおいて本物質の影響を完全には否定できないことから、分類できないとした。

酸化チタン :区分1(呼吸器)

**誤えん有害性**

酸化チタン :分類できない

## 1 2. 環境影響情報

### 成分の環境有害性情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

### 汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。  
UN No. : 該当しない  
Proper Shipping Name : -  
Class : -  
Packing Group : -  
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。  
UN No. : 該当しない  
Proper Shipping Name : -  
Class : -  
Packing Group : -

### 国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。  
海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)  
航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

### 特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。  
直射日光を避けて輸送する。

### 緊急時応急措置指針番号

—

## 1 5. 適用法令

### 化審法

特段規制なし

### 安衛法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : 酸化イットリウム、酸化ジルコニウム、酸化ハフニウム(IV)、酸化チタン  
(固形物のため、表示は適用除外)  
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 : 酸化チタン

### 化管法(PRTR法)

非該当

### 毒劇法

非該当

### 消防法

非該当

### 外国為替及び外国

輸出貿易管理令別表第1の16項 : 酸化ジルコニウム、酸化イットリウム、酸化チタン

### 貿易管理法

輸出貿易管理令別表第1の2項 : 酸化ジルコニウム

## 1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。